

## <第8回 竜神地域会議 会議録>

日 時 令和7年11月25日(火) 18:00~19:00

場 所 竜神交流館 多目的ホール

出席者 委 員 10名

事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、鈴木担当長

### 1 報告事項

(1) 第7回竜神地域会議会議録について

事務局から説明

(2) 安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」の進捗について

①スマホアプリ内バナー広告を利用した交通安全啓発事業について

⇒事務局から10月1日~31日の実績を報告

②11月2日(日)竜神ふれあいまつりへの出展について

⇒事務局から実施状況及びアンケート結果を報告

(意見)

・30人では少ないのでさらに多く集められるとよい。

⇒今後さらに多く集められるよう工夫していく。

・災害へ備えて蓄える量(問5)が、令和5年の市民意識調査の時より増えている。増えているのは理由があるのか?

⇒市では様々な機会に「最低3日間、可能なら一週間以上」備えるように市民に啓発しており、市民に浸透してきた成果ととらえている。

・確保した水で、暑い夏に持ちこたえられるかはわからないので、訓練などで体験できる機会があるとよい。

⇒今後の訓練に活かさないか検討していく。

(3) 高岡4地域合同事業の進捗について

①11月16日(日)「TBLS感謝祭」にブースを出展

⇒事務局から実施状況を報告

(4) 「わくわく事業団体募集」について

⇒事務局から報告

### 2 協議事項

(1) 防災ハンドブックの活用促進についてグループ協議

«何度も読み直してもらえる工夫»

#### Aグループ

・一時避難所を事前に知っておくためクイズ形式もよい。

・自分の住んでいるところの震度、液状化になるかなどをクイズにする。アニメで作成するのもよい。

・実際に発生したとき、対応の仕方が一斉に携帯に入るとよい。

・ハンドブックからのクイズで10問中8問正解したら景品がもらえるなど

- ・防災対策課から専門的な話をしてもらう
- ・被災地の体験談を聞く機会もあるとよい。

#### Cグループ

- ・企業との関係を作っておくとよい。
- ・自治会などの小さなコミュニティを活用して広げるとよい（訓練、情報）。
- ・防災に関する専門の集まりを作る（現在は地区別になってしまっている）。
- ・緑ヶ丘自治区のようにラインを活用する方法もある。ただ見るだけでなくやり取りができるシステムができれば効果が高いと思う。

### 3 連絡事項

以下、事務局より説明

- (1) 12月1日(月) 赤色回転灯による交通安全街頭啓発(竹下自治区)
- (2) 4月から9月までの費用弁償の支払いについて
- (3) 12月20日(土)交通安全フォーラムについて
- (4) 1月22日(木)笑撃波による「特殊詐欺防止講座」について
- (5) 自主防災サポーター養成講座の日程の決定について(2月28日)

#### ★次回開催

**12月23日(火) 午後6時00分～**